

浜岡原子力発電所向け壁面設置型フラップゲート式 止水設備「neo RiSe[®]-W」の納入

日立造船株式会社は、このほど、浜岡原子力発電所向けに世界初となる壁面設置型フラップゲート「neo RiSe[®]-W」を7開口分（14基）納入しました。

■概要

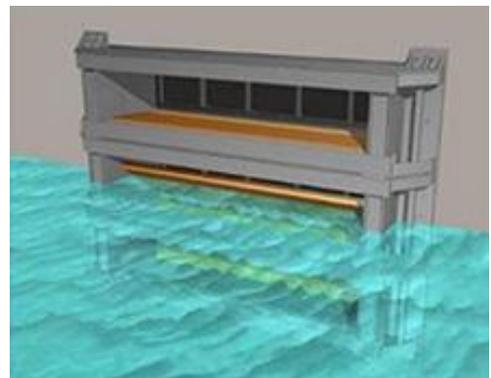
一般的な建屋では壁面に空調用開口、機器搬入用開口など各種開口があり、沿岸部においては津波・高潮による壁面開口部の浸水対策が課題の1つとなっています。

本件は、中部電力が浜岡原子力発電所の建屋壁面の空調用開口部から発電所内部への津波による浸水を防止するため、当社が開発した neo RiSe[®]-W の導入を計画したものであり、当社は設計、製造および輸送を請け負いました。

当社は、堺工場において neo RiSe[®]-W の製造および全量止水試験を実施しており、高い水準が求められる原子力発電所向けに適した品質となっています。



neo RiSe[®]-W（幅 6.0m×4.5m）外観



浸水時の neo RiSe[®]-W イメージ

なお、当社は、浜岡原子力発電所向けには 2016 年 4 月に取水槽から発電所敷地内への浸水を防止するため、車両用ゲートに陸上設置型フラップゲート式防潮壁「neo RiSe[®]」を 10 基納入しており、本件で 2 件目の実績となります。

1. 発注者：中部電力株式会社
2. 納入機器：壁面設置型フラップゲート式止水設備「neo RiSe[®]-W」 7開口分（14基）
（最大口径 幅 6.0m×4.5m、最小口径 幅 0.9m×高さ 0.45m）
3. 納入場所：浜岡原子力発電所 4号機建屋壁面
（住所：静岡県御前崎市佐倉 5561）
4. 納 期：2018年2月

■neo RiSe[®]-Wの特長

neo RiSe[®]-Wは、四方を止水できる構造とすることにより、建屋の壁面開口部からの浸水を防止する装置です。地震・津波による変形や破損が生じない強度を有しており、大型開口部に対しては多段式とすることにより、コンパクトで合理的な構造を実現しています。

■neo RiSe[®]の特長

neo RiSe[®]は、「No energy, No operation, Rising seawall」を略した製品名であり、無動力かつ人為操作なしに開口部閉塞を可能とすることを最大の特長とする新しいタイプの津波・高潮防災設備です。突発的な地震による津波に対応するには、極めて短時間のうちに水門ゲート操作を完了させる必要がありますが、neo RiSe[®]はその課題を克服しました。また、様々な状況に対応できるように、建物用に外観に配慮した「neo RiSe[®]-A」があり、そのほかにも既存設備への増設作業が簡単に行うことができる「neo RiSe[®]-L」等を展開しています。

特長は次のとおりです。

- （1）緊急時には人為操作なしでも自然の力を活用して自立閉塞することができ、確実な作動と安全 確保を両立します。
- （2）制御・動力装置の簡略化により、極めてシンプルな機器構成を実現し、信頼性・維持管理性の 向上を実現しています。